

平成16年度 感染危機管理支援モデル事業活動報告

(院内感染地域支援ネットワークモデル事業)

検討会議	16. 6. 23. (水) 16. 7. 5. (月) 16. 7. 13. (火)	出席者 検討委員21名: 合同ビル5C会議室 出席者 検討委員(リーダー会) 5名: 県庁新館2A会議室 出席者 検討委員21名: 滋賀ビル9階 比良の間会議室																		
専門家チームの派遣	16. 9. 30. (木) 16. 11. 18. (木) 17. 1. 12. (水) 17. 2. 7. (月) 17. 2. 16. (水) 17. 3. 8. (火) 17. 3. 23. (水)	予防巡回として巡回指導チーム(検討委員4名)派遣 病院 院内感染発生のため巡回指導チーム(検討委員5名)派遣 病院 研修会 「幼児期に発生しやすい感染症とその予防について」 幼稚園の先生(40名)対象 研修会 「施設における感染症集団発生対策について」 福祉施設等の職員(71名)対象 研修会 「高齢者施設における感染予防対策について」 介護老人保健施設の職員(27名)対象 研修会 「保育所における感染症予防について」 保育所等の先生(26名)対象 研修会 「高齢者施設における感染予防対策について」 福祉サービス施設の職員(21名)対象																		
院内感染防止対策研修会	16. 10. 27. (水) 15:00~16:30 17. 1. 20. (木) 15:00~17:00	滋賀県医師会館 4階講堂 43病院11施設、156名参加 演題 「消毒と滅菌の最近の話題」 講師 NTT西日本東海病院 外科部長 大久保憲氏 県立成人病センター 研究所講堂 44病院35施設、196名参加 演題 「はじめてみよう感染管理—基礎から応用まで—」 講師 沖縄県立中部病院 内科副部長 遠藤和郎氏																		
感染管理看護職員研修会	1日目 16. 12. 2. (木) 9:30~16:00 2日目 16. 12. 3. (金) 9:30~16:00	滋賀県看護研修センター 55病院3施設、147名参加 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:50%;">内容</th> <th style="width:50%;">講師</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>感染管理の組織とシステム</td> <td>市立長浜病院 副院長 野田秀樹氏 (ICD)</td> </tr> <tr> <td>標準予防策</td> <td>公立甲賀病院 看護師 山元桂氏 (ICN)</td> </tr> <tr> <td>感染経路別予防策</td> <td></td> </tr> <tr> <td>職業感染予防策</td> <td>大阪島田病院 看護部長 森下幸子氏 (ICN)</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:50%;">内容</th> <th style="width:50%;">講師</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>尿路感染予防策</td> <td rowspan="2">秋田社会保険病院 看護師 阿部亜矢子氏 (ICN)</td> </tr> <tr> <td>手術部位感染予防策</td> </tr> <tr> <td>血流感染予防策</td> <td rowspan="2">滋賀医科大学医学部附属病院 看護師長 芳尾邦子氏 (ICN)</td> </tr> <tr> <td>人工呼吸器関連肺炎予防策</td> </tr> </tbody> </table>	内容	講師	感染管理の組織とシステム	市立長浜病院 副院長 野田秀樹氏 (ICD)	標準予防策	公立甲賀病院 看護師 山元桂氏 (ICN)	感染経路別予防策		職業感染予防策	大阪島田病院 看護部長 森下幸子氏 (ICN)	内容	講師	尿路感染予防策	秋田社会保険病院 看護師 阿部亜矢子氏 (ICN)	手術部位感染予防策	血流感染予防策	滋賀医科大学医学部附属病院 看護師長 芳尾邦子氏 (ICN)	人工呼吸器関連肺炎予防策
内容	講師																			
感染管理の組織とシステム	市立長浜病院 副院長 野田秀樹氏 (ICD)																			
標準予防策	公立甲賀病院 看護師 山元桂氏 (ICN)																			
感染経路別予防策																				
職業感染予防策	大阪島田病院 看護部長 森下幸子氏 (ICN)																			
内容	講師																			
尿路感染予防策	秋田社会保険病院 看護師 阿部亜矢子氏 (ICN)																			
手術部位感染予防策																				
血流感染予防策	滋賀医科大学医学部附属病院 看護師長 芳尾邦子氏 (ICN)																			
人工呼吸器関連肺炎予防策																				
院内感染相談		相談件数 23件 相談方法内訳 ホームページ(メール) 3件 TEL 13件 FAX 7件																		
病院協会会報誌掲載	16. 7. 1. 発行 16. 10. 1. 発行 17. 1. 1. 発行 17. 4. 1. 発行	病院協会報第64号 院内感染対策の整備状況に関するアンケート調査結果(病院)掲載 " 第65号 「防ごう! 院内感染」 シリーズ1 看護部門 " 第66号 " シリーズ2 薬剤部門 " 第67号 " シリーズ3 臨床検査部門																		
パンフレットの作成	16. 5. 28. 16. 8. 16. 8. 18. 17. 2. 16. 11. 1.	ポスター「手を洗いましょう」 冊子「マンガでわかる院内感染対策」 病院、有床診療所、各団体へ送付 ポスター・冊子再版 歯科診療所(歯科医師会会員)、診療所(医師会会員)へ送付 ポスター・冊子再版 院内感染地域支援ネットワーク事業のチラシ作成(各病院へ配布)																		
先進地視察	17. 3. 22. (火) 17. 3. 25. (金)	東北大学医学部附属病院 検討委員3名 NTT西日本東海病院 検討委員6名																		

7. 岡山県

院内感染地域支援ネットワーク活動状況に関するアンケート（岡山県）

以下の項目にご回答下さい。文章の長さは制限いたしませんので、必要であれば、資料添付などの形でご記入下さい。平成16年度と平成17年度（2月まで）分けて、2年間分としてご記入下さい。項目7と項目12を昨年度アンケート項目に新たに追加いたしました。

1. 設置（委託）場所 : (社)岡山県医師会
2. 相談形式 : 電子メール
3. 相談業務の開始時期: 平成16年12月～
4. 窓口業務時間 : 随時
窓口担当者 : 岡山県医師会職員 1名 (兼任)
5. 相談対応者（相談員）の数と所属: 医師 1、 看護師 1
岡山大学医学部・歯学部附属病院
6. これまでの相談件数と主な内容
平成16年度 3件
相談内容は、相談事例記録表の分類、例えば「多発事例」「職業暴露」「マニュアル」等に分類して、特筆すべき事項は詳細にお願いします
平成17年度 0件
7. 相談対象施設の種類と件数: 3件（3病院）
いずれも事例ではなく対策に関する一般的な相談
8. その他の活動に関して
 - 平成16年度の活動
 - 情報・意見交換会、院内感染対策連絡会
 - (1) 岡山県・岡山市共催
 - H17.3.12 院内感染対策研修・連絡会 (主催:岡山県・岡山市)
対象:病院、有床診療所の職員 参加者数:約400名
 - (2) 岡山県医師会 開催 (岡山県からの委託事業)
 - H16.11.20 院内感染対策情報・意見交換会
対象:医師会員等 参加者数 99名
 - H17.1.15 院内感染対策情報・意見交換会
対象:医師会員等 参加者数 92名
 - H17.1.15 院内感染対策連絡会
対象:医療機関職員 参加者数 92名
 - (3) 岡山県歯科医師会 開催 (岡山県からの委託事業)

- H17.2.19 院内感染対策情報・意見交換会
対象：歯科医師会員等 参加者数 72名
- (4) 岡山県看護協会 開催 (岡山県からの委託事業)
 - H17.1.28 院内感染対策情報・意見交換会
対象：看護協会会員等 参加者数 188名
 - H17.1.29 院内感染対策情報・意見交換会
対象：看護協会会員等 参加者数 189名
- (5) 岡山県臨床検査技師会 開催 (岡山県からの委託事業)
 - H17.3.6 院内感染対策情報・意見交換会
対象：臨床検査技師会員等 参加者数 250名
- 院内感染対策支援会議 (岡山県が主催)
 - H16.11.2 開催
- 平成17年度の活動
 - 情報・意見交換会、院内感染対策連絡会
 - (1) 岡山県・岡山市共催
 - H18.3.19 院内感染対策研修・連絡会 (主催：岡山県・岡山市)
対象：病院、有床診療所の職員 参加者数：約300名
 - (2) 岡山県医師会 開催 (岡山県からの委託事業)
 - H17.7.16 院内感染対策情報・意見交換会
対象：医師会員等 参加者数 150名
 - (3) 岡山県歯科医師会 開催 (岡山県からの委託事業)
 - H18.2.5 院内感染対策情報・意見交換会
対象：歯科医師会員等 参加者数 80名
 - (4) 岡山県看護協会 開催 (岡山県からの委託事業)
 - H18.1月 院内感染対策情報・意見交換会
対象：看護協会会員等 参加者数 300名
 - (5) 岡山県臨床検査技師会 開催 (岡山県からの委託事業)
 - H17.3.5 院内感染対策情報・意見交換会
対象：臨床検査技師会員等 参加者数 200名
 - 院内感染対策支援会議 (岡山県が主催)
 - H17.10.31 開催
 - 岡山県医師会ホームページ上で、院内感染対策チェックリストを医療機関向けに公開
 - 岡山県院内感染相談窓口の活用について、医師会等関係団体へ再度周知
 - 保健所の医療機関立入検査の際に各医療機関に周知

9. 相談件数を大幅に増やす対策に関する意見

10. 予算措置に関する具体的な希望

日進月歩する院内感染対策に係る技術的助言を、中央から医療関係者へ直接提供される形のご支援をいただきたい。

11. その他ネットワークに関する希望やご意見

高い専門性と日進月歩の具体的な対策方法の普及について、法令上整理される前の段階の内容は、感染症研究所や感染症学会等の事業を主軸とし、地方自治体は、その活動の周知を図るとともに、法令に基づく指導を徹底するのが適当。

対応事例データベースについては、全国レベルで既に多くの蓄積がある感染症学会の事例データを整理し、それを活用するのが効率的かつ効果的であり、自治体はその周知を図るのが良いと考える。

12. 平成 19 年度からの事業化に向けて必要と思われる事項を箇条書きでご記入下さい。

- 法令に基づかない技術的・専門的な事項は、本来、医療機関の裁量で行われるべきことであり、その部分を行政が担うことには疑問がある。
- 感染症学会のデータ等を整理して、どの医療機関からも広く活用できるよう情報提供体制の整備をお願いしたい。
- 専門家も少ない地方自治体が主体となるよりも、感染症学会や感染症研究所等が中心のネットワーク構築がなされるべき。

8. 香 川 県

院内感染地域支援ネットワーク活動状況に関するアンケート回答（香川県）

1. 設置（委託）場所（部署などもご記入下さい。）
→香川県立中央病院中央検査部微生物検査室内
2. 相談形式：（例－電話やFAX）
→専用FAXと専用メールアドレス
3. 相談業務の開始時期：（例－平成16年〇月～）
→平成16年3月26日
4. 窓口業務時間、窓口担当の有無、専任がいるか（いる場合、その職種）：
→センター長および微生物検査担当臨床検査技師、専任なし、兼務
5. 相談対応者（相談員）の数と所属：
→センター長、副センター長、院内感染防止委員会 ICT5名、香川県院内感染地域支援委員会委員11名、計17名
6. これまでの相談件数、主な内容（相談内容は、相談事例記録表の分類、例えば「多発事例」「職業暴露」「マニュアル」等に分類して、特筆すべき事項は詳細にお願いします）
→添付Excel文書（2ページ）、相談事例として一覧表を示します。
7. 相談対象施設の種類と件数（相談事例記録表の分類にしたがって下さい）
→添付Excel文書（同上）に相談事例として一覧表を示します。
8. その他の活動に関して（講習会などできるだけ具体的に）
→委員会の開催、ワークショップ2回、講習会1回開催、サーベイランス事業を添付Word文書に要約します。
9. 相談件数を大幅に増やす対策に関するご意見
→講習会終了時のアンケートが最も効果的ですが、医師会、看護協会、薬剤師会、臨床検査技師会等の会報に相談センターの広告を出すことなどです。
10. 予算措置に関しての具体的な希望
→液晶プロジェクターなど5万円以上の機器の購入費
地域院内感染支援事業に関する県外の講習会、研究会、学会、施設見学などに要する旅費、参加費
11. その他ネットワークに関しての希望やご意見
→他地域の事業内容、院内感染対策支援に関するニュース等を簡潔なニュースレター形式とし、Eメールなどで情報交換する。
12. 平成19年度からの事業化に向けて必要と思われる事項を箇条書きでご記入下さい。
→平成19年度からの事業化の計画が明確ではありませんので、具体的に記載できませんが、当方では、現在の相談事業、サーベイランス事業、講習会の3事業を継続する予定です。

香川県院内感染対策支援委員会

委員

所属役職	氏名
香川県西讃保健所長	久保 訓子
医療法人社団桑島内科医院院長 (香川県医師会理事)	桑島 達郎
香川県立中央病院副院長 (香川県院内感染対策相談センター長)	桑島 実
香川大学医学部長	田港 朝彦
香川労災病院看護師長補佐	塚田 由美子
坂出市立病院診療部長	中村 洋之
香川大学医学部附属病院検査部副臨床検査技師長	根ヶ山 清
医療法人社団蓮成会蓮井歯科ファミリークリニック院長 (香川県歯科医師会理事)	蓮井 義則
香川県立中央病院内科部長 (香川県院内感染対策相談センター室長)	宮脇 裕史
三豊総合病院内科医長	山地 康文
香川県立津田病院看護部長	山田 悦子

(五十音順、敬称略)

専門委員

所属役職	氏名
香川県立中央病院中央検査部副主幹	亀山 妙子
香川県立中央病院看護部看護師長	金山 智子
香川県立中央病院薬剤部副主幹	宮川 真澄

(五十音順、敬称略)

香川県院内感染対策支援委員会議題

第1回：平成16年9月14日（火）19時～場所：KKRさぬき荘 1階玉藻

議題：香川県院内感染対策地域支援ネットワーク事業における相談事例について、
県内医療機関サーベイランス結果報告、香川県における院内感染対策支援
ネットワークの確立に関するワークショップについて

付記：サーベイランスの結果をもとに、どこまで介入していくかは今後の課題
である。（会長）

資料：院内感染相談事例、香川県院内感染対策相談センターをご利用ください、
香川県立中央病院ホームページ「院内感染対策相談センターをご利用
ください。」のページ、院内感染防止地域支援サーベイランス事業報告、
香川県における院内感染対策支援ネットワークの確立に関するワークシ
ョップ、院内感染地域支援ネットワーク事業の実施状況

第2回：平成17年3月9日（水）19時～場所：KKRさぬき荘 1階玉藻、

議題：相談件数増加策について、県内医療機関サーベイランス結果報告と評価、
ワークショップ報告、今後の研修・講演会等の活動について

付記：感染対策に関するチェックリスト等を作成して、歯科医師にも問題意識を
持ってもらうのが必要だと思う。（塚田委員）

支援委員会の委員として県歯科医師会の会員にも参加してもらうことが大
事であり、医務国保課に働きかけをお願いしたい。また、そのために設置
要綱を変更することとしたい。（委員長）

資料：院内感染相談事例、香川県院内感染対策相談センターをご利用ください
サーベイランス事業報告、香川県における院内感染対策支援ネットワーク

第3回：日時：平成17年9月21日（水）19時～場所：KKRさぬき荘 1階玉藻

議題：院内感染対策講習会報告、相談事例報告、相談件数増加策について、県内
医療機関サーベイランス結果報告と評価、今後の研修・講演会等の活動に
ついて

付記：歯科医師会への働きかけについては、県医務国保課を通じ4月1日付けで
蓮井義則理事が委員に加わったことが報告された。歯科医師会では在宅診
療、施設訪問にも取り組むために標準予防策を取り入れていくので、この
委員会で勉強させていただき、感染防止関連の情報を歯科医師会の会員に
も伝えていきたい。（蓮井委員）

資料：院内感染対策講習会結果報告、香川県院内感染対策相談センター相談事例、
県内医療機関サーベイランス結果報告

香川県院内感染対策相談センター相談事例(2004.3.26～2006.1.19)35件

番号	方法	年月日	施設	職種	相談項目	相談内容
1	T	04.3.26	病院	看護	ワクチン	新規採用者にワクチンを接種しているか。実施している場合はその負担はどうしているか(ツ反、風疹、麻疹、流行性耳下腺炎、水痘、B型肝炎、インフルエンザについて)
2	T	04.3.31	老健	医師	ノロ感染	2月に嘔吐、下痢が発生したが、施設内感染か
3	F	04.4.8	老健	医師	連絡	相談事例記入用紙を送付してほしい
4	M	04.4.14	病院	医師	連絡	相談事例記入用紙を送付してほしい
5	M	04.4.14	病院	看護	疥癬	疥癬患者入院時の対応について(ノルウェー疥癬と通常疥癬の各々について最も治療効果があり、毒性の少ないエビデンスのある治療法)
6	M	4.6.28	医院	医師	MRSA	MRSAの保菌患者が入院した場合の対策(ベッドや廊下などの環境の消毒の必要性の有無とシーツ交換時の注意)
7	M	04.7.8	医院	医師	MRSA	MRSA対策としてコストを抑え、しかも最大限の効果を得るための方法
8	F	04.7.9	デイ	デイ	疥癬	通所介護利用者が疥癬に感染し、他の利用者にも広がっているが、通所利用者間で疥癬を移されたとうわさが広まり困っている
9	F	04.8.9	病院	看護	消毒	アルコール禁者の注射用消毒薬について(種類、容器、保管法等)低コストで教えて欲しい
10	F	04.9.7	病院	医師	マニュアル	院内感染マニュアルを作成したいが参考資料を教えて欲しい
11	F	04.9.24	グル	看護	委員会	感染対策委員会設置の方法と関係資料を教えて欲しい
12	T	04.9.28	病院	事務	浴室表示	浴室にレジオネラ検出せず等の貼り紙をしているか(風呂屋の浴場水検査結果の類)
13	F	04.10.15	病院	検査	マニュアル	前マニュアル見直しの為、MRSA感染対策用マニュアルを教えて欲しい
14	F	05.1.11	病院	検査	ノロ資料	ノロウイルス感染防止のための資料、ホームページを知りたい
15	T	05.2.25	病院	検査	結核	ツベルクリン反応等院内で結核患者が出た場合の対応法、喀痰の検査法等について
16	F	05.2.28	病院	医師	マニュアル	自施設の院内感染マニュアル作成のためのひな型様のものが有れば紹介を。
17	F	05.5.17	医院	看護	MRSA	MRSA対策について教えてほしい。
18	F	05.5.17	病院	検査	ワクチン	職員のHBワクチン接種で、事前に抗原・抗体検査を行わずに接種しても問題はないのか。針刺し事故が発生した場合の対策について教えてほしい。
19	F	05.6.15	病院	看護	MRSA	MRSAが除菌できず、その為、老人施設の入所を拒否されている。保菌状態での入所について、相談センターの見解は。
20	F	05.6.20	病院	検査	紫外線照射	感染対策、特に紫外線照射やガウン・キャップの着用の是非について、資料がほしい。
21	F	05.6.23	病院	看護	衛生管理	脳外科患者用ヘルメットの衛生管理と手袋の医療基準について。
22	F	05.6.27	病院	看護	ガイドライン	香川県からの感染対策ガイドラインがあれば、教えてほしい。
23	F	05.8.3	病院	保健	結核検診	結核患者に接触した職員に対する検診(接触6ヶ月後)で、胸部レントゲン以外の有効な検査方法を知りたい。(妊娠中の職員が胸部レントゲン撮影を拒否)
24	F	05.8.18	病院	看護	給食	病院給食の食器の感染防止について。(感染性疾患患者の食器の区別、薬品による消毒の必要性など)
25	F	05.8.22	病院	看護	施設見学	感染対策全般について施設見学を希望している。一般的に施設見学を申し込む際の手続きを教えてほしい。
26	M	05.8.30	病院	看護	消毒・廃棄	MRSA患者の医療器具はそれぞれ別容器で消毒しているが、どのようにすればよいか教えてほしい。医療廃棄物を清潔区域の詰所でなく、職員以外が出入りできる汚物処理室に廃棄するようにしてもよいか個室隔離の場合のゴミの出し方について、教えてほしい。
27	M	05.9.1	病院	看護	気管内吸引	中央病院では気管内吸引時の手順をどのように行なっているのか。未滅菌手袋での気管内吸引は可能か？また、清潔操作がどこまで必要か教えてほしい。
28	F	05.9.14	病院	検査	廃棄物処理	感染性医療廃棄物の取り扱いについて(バイオハザードマークの白地に黄色のものとして黄色に黒地のものでは使用目的に違いがあるか。また橙・黄色についても)
29	F	05.9.15	病院	検査	マニュアル	病院機能評価Ver5.0にむけて院内感染マニュアル作成中であるが、「院内感染発生情報に基づき改善策を講じている」に関する改善策マニュアルがあるかどうか。
30	F	05.11.5	特養	看護	MRSA	喀痰からMRSA(+)が検出され、痰が多く、吸入、吸引が必要な利用者が病院から4床室に帰られたが、消毒、入浴についてどうすればよいか
31	M	05.11.24	病院	看護	手術手洗水	厚生労働省からだされた医療法施行規則の一部改正で、手術時の手洗いは管理された水道水なら滅菌水の使用は必須ではないという通達が出されたが、当院は水道水を一旦タンクに貯留し、毎日臭いと色のチェック、残塩の確認を確認を行っているが、これが適切な方法か判断に困っている。現在は滅菌水を使用しているが水道水に変更してもよいか。他に適切な管理方法は。
32	M	05.11.24	病院	看護	疥癬	疥癬のマニュアル通りの治療を終了した患者(ノルウェー疥癬ではない)の症状が1ヶ月以上続くので、再度検鏡にだしたところ再び疥癬虫が確認された。検査は定期的にとるべきか。疥癬クリームは毒性がある聞か、再検して検出された場合、再度治療は繰り返してもよいか。ガウンなどの予防策はどの時点で中止したらよいか。
33	F	05.12.16	病院	検査	消毒	脳波の電極の消毒法について(使用後ヒビテン溶液の中につけているが貴院ではどのような方法で行っているか)
34	M	06.1.5	病院	看護	手術手洗水	(4の相談への追加質問)手術手洗い時の水道水使用について、県内の公立病院の滅菌水からの移行率を知りたい。貴センターで滅菌水から水道水に変更している施設を把握していたら教えてほしい。
35	T	06.1.17	病院	検査	インフル	インフルエンザの重症度1～7分類について

相談事例の内訳

施設	件	職種	件	相談項目	件
病院	27	医師	7	MRSA	13
病院		医師		MRSA	
病院		医師		MRSA	
病院		医師		MRSA	
病院		医師		MRSA	
病院		医師		疥癬	
病院		医師		疥癬	
病院		看護	疥癬		
病院		看護	ノロ感染		
病院		看護	ノロ資料		
病院		看護	結核		
病院		看護	結核検診		
病院		看護	インフル		
病院		看護	16	委員会	6
病院		看護		マニュアル	
病院		看護		マニュアル	
病院	看護	マニュアル			
病院	看護	マニュアル			
病院	看護	ガイドライン			
病院	看護	9	気管内吸引	9	
病院	看護		手術手洗水		
病院	看護		手術手洗水		
病院	看護		消毒		
病院	保健		消毒		
病院	保健		消毒・廃棄		
病院	検査	9	紫外線照射	9	
病院	検査		廃棄物処理		
病院	検査		衛生管理		
医院	3	検査	9	浴室表示	7
医院		検査		フクチン	
医院		検査		フクチン	
特養	5	検査	5	給食	7
老健		検査		施設見学	
老健		検査		連絡	
デイ	5	事務	2	連絡	7
グル		デイ		連絡	

相談方法
 FAX 21件
 メール9件
 電話 5件

香川県院内感染対策相談センター ワークショップ・講演会・サーベイランス事業報告

ワークショップ

第1回

主題：香川県における院内感染対策支援ネットワークの確立に関するワークショップ

日時：平成16年3月25日（木）14：00～17：00

場所：香川県立中央病院南館10階会議室

指導：日本大学臨床検査医学教室 助教授 熊坂一成

参加者：23名

主題：病院感染防止教育カリキュラムプランニングの実際

～適切な教育目標の設定から、教育戦そして評価まで～

内容：

（一般目標-1）病院感染防止教育活動における学習のプロセス並びに、カリキュラム立案の方法を理解する。

（一般目標-2）病院感染防止教育活動に関して、効果的な教授・学習方法及び評価についての適切なあり方を理解し、望ましいカリキュラムを立案する技術・能力を習得する。

（一般目標-3）

病院感染防止活動に関する教育研修活動に対する抵抗を認識し、それを克服する戦略方法の立て方を理解する。

ワークショップ

第2回

主題：香川県における院内感染対策支援ネットワークの確立に関するワークショップ

日時：平成16年9月11日（土）10：00～17：00

場所：香川県立中央病院南館10階会議室

実行委員会：チーフ・プランナー：熊坂一成 日本大学臨床検査医学講座助教授

参加者：16名

目的：香川県における、院内感染防止ネットワークを確立する中核メンバーが、院内感染防止教育カリキュラムの開発に適切に対応できるようになるための、教育研修事業として開催した。

内容：レクチャーの時間は最小限にして、少人数に分かれ実際に作業をした。院内感染防止教育カリキュラムの開発に必要な教育の基本を身につけることを共通の目標にし、現状の問題点の抽出と分析、多くの制約事項の有る中での具体的な教育カリキュラムの意義を考え、現実的な教育目標の設定、実践的な教育戦略の立案方法までが体験的に学習した。

前回のワークショップでは、時間的制約から、香川県における院内感染防止ネットワークを確立するための問題点の抽出と分析まで行った。2回目は、院内感染防止ネットワークを確立するための、教育目標、教育戦略の立て方に関し考えた。

スケジュール概略

開会の挨拶、事務連絡、アイスブレイキング（自己紹介）、WSとはなにか。（再確認）、2元配置法による問題点の抽出と目標の立て方一般目標と行動目標そしてRUMBAの原則、グループ別作業『香川県における、院内感染防止ネットワークを確立』の問題点の整理と教育目標の立案を中心に、グループ別作業中間発表、プロダクト発表、教育戦略、グループ別作業、『香川県における、院内感染防止ネットワークを確立』のための教育戦略プランニングの実際、グループ別作業プロダクト発表、プロダクト全体に対するコメント、閉会の辞

講習会

名称：香川県院内感染対策支援ネットワーク事業院内感染対策講習会

主題：これだけは知っておきたい院内感染対策の基礎

日時：平成17年7月15日（金）18：30～20：45

会場：香川県社会福祉総合センター1階 コミュニティホール

参加：258名

司会：香川県院内感染対策支援委員会委員長（香川大学医学部臨床検査医学教授）田港 朝彦

演題：1）院内感染防止に必要な微生物の基礎知識

香川大学医学部附属病院検査部副技師長 根ヶ山 清（委員会委員）

2）感染防止のための基本手技

香川労災病院看護師長補佐 塚田由美子（委員会委員）

3）院内感染対策としての結核対策

香川県立中央病院内科部長 宮脇 裕史（委員会委員）

資料：1）厚生労働省 医療施設における院内感染の防止について

2）研究報告書「医療施設における院内感染（病院感染）の防止について」

3）香川県院内感染対策相談センターをご利用下さい

4）センターへのFAX相談用紙

5）院内感染防止に役立つインターネットのホームページ

サーベイランス事業

概要：検査センターへ微生物検査を外注している7病院を対象に平成16年4月より、毎月、検査センターからのデータをもとに病院毎の分離微生物・抗菌薬感受性結果を解析し図表とコメントを加え報告するサーベイランスを実施している。

1. 対象病院：香川県医師会指定の検査センター（株式会社四国中検）へ微生物検査を月50件以上外注している病院を対象に予めアンケート調査を実施し、本サーベイランスに参加希望した7病院とした。特定の検査センターを選んだ理由は、細菌検査コードを統一するためである。

2. 検査センターから毎月、フロッピーディスクで患者個人情報を除いた細菌検査データを受け取り解析した後、結果を資料としてカラープリンターで出力し、各病院に郵送している。各資料は以下の通りである。

（資料1）材料セット別菌出現率：期間中の材料セットグループ（例、呼吸器：喀痰、咽頭等）での各細菌分離数及び検体数に対する分離率

（資料2）材料セット別菌出現率：資料1を縦棒グラフに表したもの

（資料3）材料セット別菌出現率：資料1を積み上げグラフに表したもの

（資料4）材料セット毎のMRSA検出数：期間中の材料セットグループでの *S. aureus* と *S. aureus*(MRSA) の分離数及び検体数に対する分離率

（資料5）資料4の材料セット別に *S. aureus* と *S. aureus*(MRSA) の分離率を積み上げグラフに表したもの

（資料6）主要な分離細菌の薬剤感受性率1（全検体について）

（資料7）主要な分離細菌の薬剤感受性率（呼吸器系材料について）

（資料8）主要な分離細菌の薬剤感受性率（泌尿器系材料について）

（資料6～8）の主要な分離細菌に対する主要薬剤の感受性率、赤印は感受性が91%～100% 黄印は感受性が71%～90%、青印は感受性が50%～70%として表示

（月別菌出現数）黄色ブドウ球菌、緑膿菌の月別分離数を折れ線グラフに表したもの

コメント：MRSA および耐性菌の割合、増加傾向の場合は警告表示など。

サーベイランス結果の概要：MSSA に対する MRSA の割合は20～100%だが、月別、病院別において一定の傾向はみられなかった。その他の耐性菌も本院および全国集計の結果と比較しても明らかな差は見出されていない。セラチアが分離されることがあるが、増加傾向はない。サーベイランスの結果は香川県院内感染対策支援委員会で報告し、各委員からの意見をまとめている。

香川県院内感染対策支援委員会議題

第1回：平成16年9月14日（火）19時～場所：KKRさぬき荘 1階玉藻

議題：香川県院内感染対策地域支援ネットワーク事業における相談事例について、
県内医療機関サーベイランス結果報告、香川県における院内感染対策支援
ネットワークの確立に関するワークショップについて

付記：サーベイランスの結果をもとに、どこまで介入していくかは今後の課題
である。（会長）

資料：院内感染相談事例、香川県院内感染対策相談センターをご利用ください、
香川県立中央病院ホームページ「院内感染対策相談センターをご利用
ください。」のページ、院内感染防止地域支援サーベイランス事業報告、
香川県における院内感染対策支援ネットワークの確立に関するワークシ
ョップ、院内感染地域支援ネットワーク事業の実施状況

第2回：平成17年3月9日（水）19時～場所：KKRさぬき荘 1階玉藻、

議題：相談件数増加策について、県内医療機関サーベイランス結果報告と評価、
ワークショップ報告、今後の研修・講演会等の活動について

付記：感染対策に関するチェックリスト等を作成して、歯科医師にも問題意識を
持ってもらうのが必要だと思う。（塚田委員）

支援委員会の委員として県歯科医師会の会員にも参加してもらうことが大
事であり、医務国保課に働きかけをお願いしたい。また、そのために設置
要綱を変更することとしたい。（委員長）

資料：院内感染相談事例、香川県院内感染対策相談センターをご利用ください
サーベイランス事業報告、香川県における院内感染対策支援ネットワーク

第3回：日時：平成17年9月21日（水）19時～場所：KKRさぬき荘 1階玉藻

議題：院内感染対策講習会報告、相談事例報告、相談件数増加策について、県内
医療機関サーベイランス結果報告と評価、今後の研修・講演会等の活動に
ついて

付記：歯科医師会への働きかけについては、県医務国保課を通じ4月1日付けで
蓮井義則理事が委員に加わったことが報告された。歯科医師会では在宅診
療、施設訪問にも取り組むために標準予防策を取り入れていくので、この
委員会で勉強させていただき、感染防止関連の情報を歯科医師会の会員に
も伝えていきたい。（蓮井委員）

資料：院内感染対策講習会結果報告、香川県院内感染対策相談センター相談事例、
県内医療機関サーベイランス結果報告

9. 鹿 児 島 県

院内感染地域支援ネットワーク活動状況に関するアンケート（鹿児島）

以下の項目にご回答下さい。文章の長さは制限いたしませんので、必要であれば、資料添付などの形でご記入下さい。平成 16 年度と平成 17 年度（2 月まで）分けて、2 年間分としてご記入下さい。項目 7 と項目 12 を昨年度アンケート項目に新たに追加いたしました。

1. 設置（委託）場所：（社）鹿児島県医師会
2. 相談形式：電話，FAX，インターネット
3. 相談業務の開始時期：平成 16 年 3 月 22 日
4. 窓口業務時間、窓口担当者の有無、専任がいるか（いる場合、その職種）：窓口業務時間は、月曜日から金曜日までの 9：00～17：00（ただし、祝日等を除く），窓口担当者は無
5. 相談対応者（相談員）の数と所属：4 人（所属：鹿児島大学，鹿児島市立病院，九州循環器病センター）
6. これまでの相談件数、主な内容（相談内容は、相談事例記録表の分類、例えば「多発事例」「職業暴露」「マニュアル」等に分類して、特筆すべき事項は詳細にお願いします）：別紙のとおり
7. 相談対象施設の種類と件数（相談事例記録表の分類にしたがって下さい）：種類は医療機関，件数は別紙のとおり
8. その他の活動に関して：協議会の開催（1 回），支援チームの派遣（実績なし），講演会の開催（2 回を予定），インターネットによる相談・支援システムの改善
9. 相談件数を大幅に増やす対策に関するご意見：特になし。
10. 予算措置に関しての具体的な希望
11. その他ネットワークに関しての希望やご意見
12. 平成 19 年度からの事業化に向けて必要と思われる事項を箇条書きでご記入下さい。

※ 項目 10～12 に関して、平成 18 年度からは県医師会が独自の事業として取り組む予定であるため、医師会に対する国の補助制度（県の義務負担なし）の創設をお願いしたい。

平成17年度の活動実績について

(鹿児島県)

1 院内感染対策地域支援ネットワーク

(1) 県院内感染対策協議会の開催

① 目的：医療機関に対する院内感染防止対策の推進を支援するための方策等を協議する。

② メンバー：13名

③ 開催回数：年1回

平成17年11月24日

- ・ 平成17年度の事業計画について
- ・ 相談実績等について
- ・ その他

(2) 相談窓口の設置

① 相談への対応

ア 窓口設置場所：県医師会

イ 開設期間：平成17年4月～平成18年3月

ウ 相談受付の方法：電話，FAX，インターネット相談システム

エ 相談受理件数等 9件（詳細は別紙のとおり）

② 専門員（ICD・ICN）との連絡調整会議の開催

ア 目的：より相談しやすい相談・指導体制の確立を図るため，県・県医師会・専門員（ICD・ICN）による連絡調整会議を開催する。

イ 構成員：県，県医師会，専門員（ICD・ICN）

ウ 開催回数：2回

エ 開催場所：鹿児島市内

2 その他事業の活動実績（計画）

(1) 危機管理体制構築支援チームの派遣

- ① 目的：院内感染に関する相談を行った医療機関から危機管理体制の構築に関して指導等の要請があった場合に、院内感染の専門家を医療機関に派遣する。
- ② 派遣対象：予防・啓発・支援という観点での派遣

(2) 危機管理意識向上のための普及啓発

① 院内感染防止講演会及び意見交換の実施

ア 目的：医師等医療従事者を対象として、危機管理意識向上のための講演会及び意見交換を実施する。

イ 開催回数：2回（3／2，3／29）

ウ 開催場所：鹿児島市内（1回），奄美大島（1回）

エ 内容：専門家による基調講演及び意見交換

② 保健所等に対する危機管理意識向上のための教育の実施

ア 目的：保健所職員を対象として、危機管理意識向上のための研修会を開催する。

イ 開催回数：1回

ウ 開催場所：鹿児島市内

エ 内容：専門知識の講義等

(3) 危機管理情報ネットワークの構築及び先進事例の紹介

① ホームページの更新

② 先進事例紹介

過去の先進事例等の資料を電子（PDF）化し、相談システムでの紹介を行う。

③ システム機能の改善検討

より利用しやすい相談システムとするため、相談者・専門員・医療機関等の意見を参考に随時、システム機能の改善を行った。

相談実績について（平成15年3月～平成18年2月末）

（鹿児島県）

(1) 年度別相談件数

年度	件数	相談方法			摘要
		インターネット		F A X	
			うち簡易掲示板		
15	2	1		1	相談窓口の設置 H16.3.22
16	23	9	4	14	
17	9	1		8	
計	34	11	4	23	

(2) 相談方法及び相談内容

年度	月	件数	相談方法		相談内容
			インターネット	F A X	
15	3月	2	1	1	・手術室を含めた院内環境の清掃，消毒法について ・針刺し事故への対応について
	小計	2	1	1	
平成16年度	4月	2	0	2	・MRSA感染患者への処置対応について ・妊婦等に対する風疹流行時の対処法について
	5月	4	3 (1)	1	・MRSA陽性（少数）患者についての対応（保菌者か，定着者か，発病者か） ・院内より黄色ブドウ菌が検出された場合の対応，消毒方法について ・針刺し事故への対応について ・三方活栓使用による感染症データ及び感染症予防キットの内容について
	6月	1	0	1	・MRSAとMSSAとの違いと，それぞれの隔離方法及び予防対策について
	7月	1	1	0	・MRSA対策について
	8月	3	0	3	・セラチア菌，変形菌，MRSA菌が検出される患者への今後の管理，看護の対処法 ・MRSAを含む感染予防対策について ・緑膿菌感染者の対応について
	9月	1	0	1	・MRSAの対応について
	10月	2	1	1	・職員の院内感染対策について ・消毒法について
	11月	0	0	0	
	12月	1	0	1	・疥癬について
	1月	1	1	0	・消毒法について
	2月	1	0	1	・手術室での手洗いについて

年	月	件数	相談方法		相談内容
			インターネット	F A X	
平成 16 年度	3月	6	3 (3)	3	<ul style="list-style-type: none"> ・T Bのガウンテクニックについて ・病院での消毒法について ・マニュアル作りに関して ・老健施設対応の基本的な感染制御マニュアルについて ・消毒効果（殺菌）について ・疥癬について
	小計	23	9	14	
平成 17 年 度	4月	1	0	1	・ゴーグル、手袋の消毒法について
	5月	1	1	0	・手洗いについて
	6月	0	0	0	
	7月	3	0	3	<ul style="list-style-type: none"> ・細菌の遺伝子解析について ・ネブライザーへの水道水使用について ・抗生剤の手術時使用について
	8月	1	0	1	・MRSA（尿(+)喀痰(+))患者の自己導尿管管理について
	9月	1	0	1	・結核患者退院後について
	10月	1	0	1	・ヘシウム菌への消毒法について
	11月	0	0	0	
	12月	0	0	0	
	1月	1	0	1	・MRSAの患者さんへの消毒法について
	2月	0	0	0	
	小計	9	1	8	
合計	34	11	23		

(注) () は簡易掲示板で再掲